



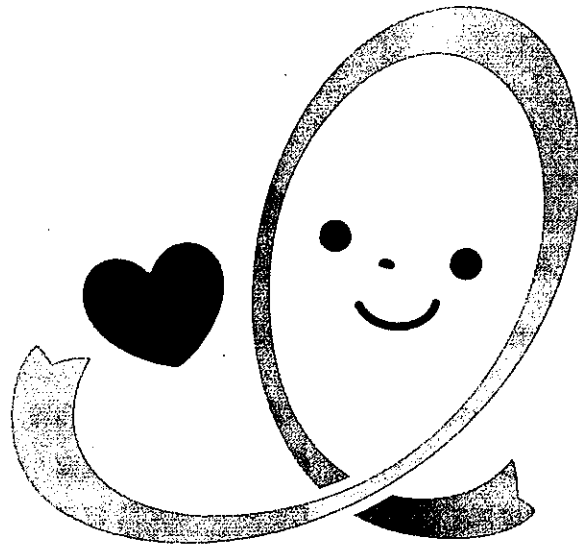
報道発表資料の配付日時 9月1日(水) 15時00分

発表項目 (行事名)	Global Gold September Campaign supported by 第一生命保険 ～世界小児がん啓発キャンペーン～ の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>9月は小児がんの子どもたちへの支援を表明する世界的な啓発月間とされており、この度、日本小児がん研究グループ（全国約200ある小児がんを診療する病院の医師等で構成するNPO法人）主催による「世界小児がん啓発キャンペーン」が、日本で初めて開催されることとなりました。</p> <p>当キャンペーンは、毎年9月に各国それぞれの地域を象徴する建物等を、小児がん支援のシンボルカラーであるゴールドでライトアップし、小児がん治療の重要性を啓発するとともに、子どもたちに必要な医療や研究に「光を照らす」イベントです。</p> <p>国内では、「東京スカイツリースペシャルイベント」が、オンラインで無料配信されるとともに、東京スカイツリーをはじめとして、各地においてライトアップイベントが予定されており、道内では、「さっぽろテレビ塔」のライトアップが行われますので、お知らせいたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 開催日等 キャンペーン開催期間：令和3年9月1日(水)～30日(木) (1) 東京スカイツリースペシャルイベント（オンライン配信） ・日時：9月9日(木)18時(17:30開演) ・内容：【第一部】いま、伝えたい「小児がん」のこと（講演） 【第二部】東京スカイツリー点灯式 ・申込方法：別添チラシをご覧ください。 (2) さっぽろテレビ塔ライトアップイベント ・日時：9月9日(木)20:00～21:00</p> <p>2 募金への協力について 小児がんの子どもたちの治療支援のため募金の周知に御協力願います（募金方法は別添チラシをご覧ください。）。</p>		
参考	道では、北海道がん対策推進計画に基づき、道民が正しい知識を得られるよう関係団体等と連携し、がんに関する正しい知識の普及啓発などの施策を推進しております。		

報道(取材)に 当たってのお願い	多くの方に視聴いただけるよう周知にご協力願います。		
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	(場所)	

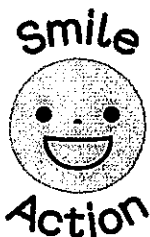
担当 (連絡先)	保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策係 担当：課長補佐 北村 芳美 TEL 011-204-5117 (ダイヤルイン) (内線：25-510)		
-------------	---	--	--

世界小児がん啓発キャンペーン



Global Gold September Campaign

supported by 第一生命



9月は小児がんの子どもたちへの支援を表明する世界的な啓発月間。
日本では、小児がんの子どもたちとご家族が輝かしい未来を“笑顔”で過ごせるように。
という願いを込めて、2021年9月からスタートする啓発キャンペーンです。

「東京スカイツリー」をゴールドにライトアップ！
世界小児がん啓発キャンペーンの日本初開催イベントを無料生配信で開催！

START



オンライン配信情報

mu-mo
LIVE

YouTube



ZAN

視聴方法



主催: 特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ (JCCG: 全国約200病院の医師らで構成)

<https://www.g-gsc.com/>

ゴールドセプテンバー

2021年8月31日

JCCG Japan Children's Cancer Group
NPO法人 日本小児がん研究グループ

「Global Gold September Campaign supported by 第一生命保険」開催概要



各地をゴールドにライトアップ Global Gold September Campaign ～ 世界小児がん啓発キャンペーン ～ 2021年9月 日本初開催！



Global Gold September Campaign (ゴールドセプテンバーキャンペーン) とは…

「Global Gold September Campaign (ゴールドセプテンバーキャンペーン) : 世界小児がん啓発キャンペーン」は、毎年9月に各国それぞれの地域を象徴する建物や遺跡・橋・自然資産などを金色にライトアップし、小児がん治療の重要性を啓発するとともに、子どもたちに必要な医療や研究に「光を照らす」イベントです。小児がんの患者さんとその両親、小児がん経験者の強い思いによって始まり、今では世界中で広く支持される一大キャンペーンとなっています。世界規模の小児がん学会「国際小児がん学会 (International Society of Paediatric Oncology : 通称の『SIOP』はフランス語の略称)」も全世界で「ゴールドセプテンバーキャンペーン」を推し進めており、昨年日本にも参加の呼びかけがありました。



オーストラリア

アイルランド

スペイン

アメリカ合衆国

2021年9月、日本もキャンペーン初開催！全国各地でゴールドにライトアップ



①北海道：さっぽろテレビ塔

②宮城：仙台スカイキャンドル

③新潟：新潟日報メディアシップ

④京都：東寺

⑤埼玉：さいたまスーパーアリーナ

⑥東京：東京スカイツリー

⑦広島：広島城

⑧愛知：中部電力 MIRAI TOWER

⑨福岡：小倉城

⑩福岡：博多ポートタワー

⑪福岡：赤煉瓦文化館

⑫佐賀：佐賀メディカルセンタービル

⑬長崎：稲佐山頂電波塔 3塔

⑭鹿児島：観覧車「アミュラン」

1. 名称 : Global Gold September Campaign supported by 第一生命保険
(ゴールドセプテンバーキャンペーン サポートedBy ダイイチセイメイ)
～世界小児がん啓発キャンペーン～

2. 期間 : 2021年9月1日(水)～30日(木)
(東京スカイツリーでのスペシャルイベント 9月9日(木))

3. 内容 : 小児がんの啓発カラーゴールドのライトアップを中心にした小児がんに関する啓発活動
(各地で「Smile Action」と題した啓発活動も展開)

Smile Action

4. 主催 : 日本小児がん研究グループ (JCCG : Japan Children's Cancer Group)

協力 : Global Gold September Campaign 推進委員会

東京スカイツリースペシャルイベント

タイトル協賛 : 第一生命保険株式会社

特別協賛 : アフラック生命保険株式会社

協賛 : 一般財団法人 京都仏教会、ハートリンク共済、特定非営利活動法人 ぶくぶくぼーん、株式会社 村上農園

出演者 : ピコ太郎, moumoon, 矢方美紀 (50音順)

国立成育医療研究センター小児がんセンター センター長 松本公一

公益財団法人がんの子どもを守る会 理事長 山下公輔

MC : 吉田明世 (フリーアナウンサー)

5. 経緯と意義

日本小児がん研究グループ (JCCG) (JCCG : Japan Children's Cancer Group) は、全国の小児がんの専門家によるオールジャパンの臨床研究グループです。日本で小児がんを診療するほぼすべての大学病院・小児病院など 200施設以上が参加して、小児がん患者さんの治療研究を行っています。

希少がんである小児がんの治療には、世界的な協力も欠かせません。昨年国際小児がん学会 (SIOP : The International Society of Paediatric Oncology) より当グループへ、国際的に小児がんを啓発する取り組み「Global Gold September Campaign : 世界小児がん啓発キャンペーン」への参加呼びかけがありました。

同キャンペーンは、毎年9月に各国それぞれの地域を象徴する建物や遺跡・橋・自然資産などを金色にライトアップし、小児がん治療の重要性を啓発するとともに、子どもたちに必要な医療や研究に「光を照らす」イベントです。小児がんの子どもたちとその親御さん、小児がん経験者らの強い思いによって始まりました。昨年9月は、カナダ：トロントのCNタワーやベルギー：ブリュッセルの欧州議会など、世界のシンボリックな建物がゴールドでライトアップされています。

当グループは、この啓発キャンペーンを日本で初めて開催することにいたしました。

小児がんの「アウェアネスリボン (Awareness ribbon) 」カラーはゴールドです。この機に、乳がんの啓発カラー・ピンクのように、小児がんのゴールドも知っていただきたいと考えています。

この国際的なキャンペーンを日本で初めて開催することには、「日本中をライトアップすることで、改めて小児がんについて知っていただき、サポートにつなげる」「日本が世界と連携し、国際的な啓発運動を加速する」という大きな意義があります。

6. 目的： 【小児がんの社会啓発】

小児がんが子どもの健康と生命にとって非常に重要な問題であることを理解していただくのが目的です。子どもにもがんがあることはあまり知られていませんが、白血病や脳腫瘍などの小児がんは 10～14 歳の子どもの死因の第 1 位です。また救えない命を救うための治療の開発や、治療を終えた子どもがその先の長い未来を安心して健康に過ごせるようなサポート体制の確立など、課題は山積しています。

小児がんは成人がんとは異なり、ほとんどは原因が不明で予防方法がありません。生活習慣病などが原因となったり、早期検診が早期発見につながりやすくなる成人がんとは事情が異なります。


また、小児がんの治療は厳しく長いことが多く、子どもたちや家族、医療従事者には、なかなか社会的な声をあげる余裕がありません。そのため、乳がんのピンクリボンキャンペーンのような大きな啓発が進んでいない現状です。しかし、小児がんが生命予後や治療後の晩期合併症なども病氣として重いことや、小児ならではのさまざまなサポートが必要とされていることは世の中に広く周知されるべきです。




【小児がんの患者さんやご家族、医療従事者らに希望やぬくもりを】


小児がんの年間の新たな発症は約 2000～2500 人です。また、小児がんの種類は大変多いため、疾患のそれぞれは超希少なと言えます。全国のさまざまな地で珍しい疾患を治療することになる子どもたちやご家族は、孤独を感じがちです。また、新型コロナウイルス感染症の影響で面会等も制限されるケースが多く、ますます寂しさを抱えています。世界中で灯されるゴールドの明かりは、今小児がんト向き合っている子どもたち、強い治療を乗り越えた子どもたち、そのご家族や医療従事者らの励ましとなるはずで


7. ライトアップ施設


- ①北海道：さっぽろテレビ塔 ②宮城：仙台スカイキャンドル ③新潟：新潟日報メディアシップ
- ④埼玉：さいたまスーパーアリーナ ⑤東京：東京スカイツリー ⑥愛知：中部電力 MIRAI TOWER
- ⑦京都：東寺(教王護国寺) ⑧広島：広島城 ⑨福岡：小倉城 ⑩福岡：博多ポーターワー
- ⑪福岡：赤煉瓦文化館 (旧日本生命保険株式会社九州支店) ⑫佐賀：佐賀メディカルセンタービル
- ⑬長崎：稲佐山山頂電波塔 3 塔 ⑭鹿児島：観覧車「アミュラン」

 **アウェアネスリボン Awareness Ribbon (気づき・認識のリボン) とは**
 社会問題や難病に対して、世界で統一した色のリボンを身につけることで、啓発したり支援の姿勢を示したりします。


 ピンクリボン	 レッドリボン	 ゴールドリボン
乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるシンボル	イズに偏見を持たず、患者を差別しないというメッセージのシンボル	小児がんへの関心・理解・支援の呼びかけを行うためのシンボル

 **小児がん支援のシンボルカラーが「ゴールド」になった理由**
 金(きん)は貴重な金属であるため、がんに立ち向かい、厳しい治療を頑張っている子どもたちは金のように貴重な宝物だとの思いから「ゴールド」がシンボル色になりました。「ゴールド」には、小児がんト向き合っている子どもたちと、彼らに必要な医療・ケアと研究に、「輝かしい光を当てる」という意味もこめられています。


 **日本で「世界小児がん啓発キャンペーン」を**

 希少ながんである小児がんの治療には、世界的な協力も欠かせません。国際的なこのキャンペーンに、国際小児がん学会 (SIOP) からJCCGへの参加呼びかけがありました。JCCGも世界と連携し、小児がんの啓発を推進していく予定です。

※日本小児がん研究グループ (JCCG) とは



日本小児がん研究グループ (JCCG: Japan Children's Cancer Group) は、子どものがんを治そうと、専門医など小児がんにかかわる医療従事者が結集したグループです。子どもたちのために、病院や地域の枠を越え、オールジャパンで治療の研究・開発に取り組んでいます。小児がんの子どもたちを治療する全国の病院ほぼすべて (約200施設) がJCCGに参加しています。

JCCG HP <http://jccg.jp/> JCCG HP QRコード 

※小児がんとは

小児がんは、白血病や脳腫瘍など、子どもがかかるがんの総称です。大人のがんとは種類も、必要なケアも大きく異なります。日本では、年間2,000人～2,500人の子どもたちが小児がんト診断されています。15歳未満の1万人に1～1.5人という「珍しい疾患」ですが、5歳以上の子どもの病死原因では第1位を占める「命を脅かす難病」です。

※小児がん情報サービス https://ganjoho.jp/child/dia_tre/about_childhood/about_childhood.html

新型コロナウイルスのまん延により、小児がんなどの難病で治療・入院中の子どもたちは一層の不安や寂しさを抱える状況です。ただでさえ厳しい難病ですが、感染症を予防するために大好きな家族との面会時間が制限されたり、外泊も難しくなったりしています。入院していない小児がんの子どもたちも、免疫力が低くなりがちなため、感染を警戒しています。JCCG 所属メンバー医療従事者は、全力で病気の子どもたちを支えたいと考えています。

～お問い合わせ先～

※窓口
 ・JCCG 事務局広報室 加藤 希
 【電話】070-1345-1014 【Mail】office-tokyo@jccg.jp

※小児がん医療の現場等専門的なこと
 ・JCCG 企画広報委員長、国立成育医療研究センター小児がんセンター長 松本 公一 (きみかず)
 【電話】03-3416-0181 【Mail】matsumoto-kmk@ncchd.go.jp

 よろしくお願ひ申し上げます

 JCCG
 Japan Children's Cancer Group